

《KROSS×OVERアマチュア ジュニアキックボクシングルール対比表(小中学生)》

項目	ジュニアキック Aクラス		ジュニアキック Bクラス	
	ワンマッチ		ワンマッチ	
階級	中学生以下(クラスA,B) ※男女混合 -25kg・-30kg・-35kg・-40kg・-45kg・-50kg・-55kg・-60kg			
試合 時間	2分2R		3分1R	
インターバル	30秒		-	
防具	ヘッドギア	○ 各自	ヘッドギア	○ 各自
	レガース	○ 各自	レガース	○ 各自
	ニーパッド	○ 各自	ニーパッド	○ 各自
	胸アテ	主催者	胸アテ	主催者
	グローブ	12oz 主催者	グローブ	12oz 主催者
バンテージ・ファールカップ・マウスピースは各自用意とする ※ただし、ファールカップは紐タイプの金属製のみ使用可とする(プラスチック製は不可)				
勝敗	■勝敗はKO勝ち、TKO勝ち、判定勝ち、引き分け、失格によって決定する			
	KO勝ち	(1)ダウンをした場合 ※ジュニア選手の場合、1回のダウンでKO勝利となります ※スタンディングダウンは有り		
	TKO勝ち	(1)選手が一方向的に優勢の時、試合続行不可能とレフリーが判断した場合。 (2)選手が負傷や出血し、試合続行不可能とレフリーまたは、リングドクターが判断した場合。 (3)セコンドがタオルを投入した場合。		
	判定勝ち	(1)KOやTKOで勝敗が決まらず、試合終了後にジャッジ3名の内2票以上を獲得した選手の勝ちとなる。 (2)延長戦が有る場合、延長戦のみの試合内容でマスト判定(どちらかに優劣を付ける)とし、勝敗を決する。		
	引き分け	(1)判定でもジャッジの2票以上の獲得がない場合。 (2)両者が同時にダウンし、両者とも10秒以内に立ち上がらない場合。		
注意・減点	反則行為を行った時レフリーは「注意」を与え、注意2回で減点1点となり、減点2点で失格とする。悪質な反則行為を行った時、即、減点や失格となる場合もある。 ※偶発的な金的攻撃でダウンし、インターバル後に試合不可能な選手はTKO負けとなる。 ※呼び出しても試合場に現れない場合、失格となる。			
有効技	パンチでの攻撃 ストレート、フック、アッパー、ボディブロー ※バックブローは有効			
	ヒザ蹴りを含む、キックでの攻撃 前蹴り、廻し蹴り、横蹴り、内股への蹴り、飛び蹴り、かかと落とし、膝蹴り ※後ろ回し蹴り(バックスピニングキック)、胴廻し回転蹴り等の回転系の技は有効とする			
反則技	(1)クリンチ、相手選手に抱きつく、密着する行為(首相撲を含む)、(2)相手の手足を掴む行為、(3)肘打ち、(4)頭突き(バッティング)、(5)オープンブロー、(6)故意による金的攻撃(ローブロー)、(7)投げ技(タックルやサバ折りを含む)、(8)関節技、(9)噛み付き、目潰し(サミング)、(10)倒れた相手に対する攻撃、背後からの攻撃、(11)「ブレイク」・「ストップ」後、レフリーが試合続行を命じる前の攻撃、(12)ロープを掴んでの攻撃、(13)セコンドのスポーツマンシップに反する応援や相手選手に対する中傷や侮辱する言動、(14)顔面・頭部へのヒザ蹴り			